



青野真澄  
 浅山夏音  
 石井琢郎  
 石田志生  
 大鹿菜々子  
 大槻孝之  
 海崎三郎  
 カクエンヨウ  
 鞍掛純一  
 小林紗己  
 黄美茜  
 朱紫潔  
 張彦博  
 ZHANG XIN  
 張晴  
 程媛媛  
 丁子璇  
 寺内曜子  
 古井彩夏  
 山本紘大  
 LIU RUIQI  
 リンチャーシン  
 和田政幸  
(50音順で表記)  
 土谷武

(日本大学芸術学部美術学科元教授・特別出品)

令和6年度 日本大学芸術学部 学部長指定研究 [柳瀬荘アート教育プロジェクト]

# かたちとゆらぎ

2024年10月17日(木)～11月30日(土) (会期のうち13日間のみ公開)

10月17日(木)、19日(土)、24日(木)、26日(土)、31日(木)、11月7日(木)、9日(土)、14日(木)、16日(土)、21日(木)、23日(土・祝)、28日(木)、30日(土)

時間 | 10:00～15:00 | 観覧料 | 無料・予約不要 | イベント | [かまど火焚き] 11月7日(木) 10:00～12:00 (かまどに火入れし貴林閣を燻蒸します。)

主催 | 日本大学芸術学部美術学科彫刻コース・東京国立博物館 | 協力 | 学校法人 青山学院 | 担当 | 日本大学芸術学部美術学科 (飯田竜太)

問合せ | 03-5995-8230 (美術学科代表) | 日本大学芸術学部美術学科 HP <http://nichigei-art.com/> | 会場住所 | 東京国立博物館 柳瀬荘 埼玉県所沢市大字坂之下 437





### 「かたちとゆらぎ」

今回の柳瀬荘アート教育プロジェクトでは、元日本大学芸術学部美術学科教授・土谷武氏の名作『歩く鉄』(1981)を特別展示します。この作品は、鉄という素材の独特の質感と、土谷氏の緻密な視点で捉えられた「かたち」の美しさが高く評価されています。『歩く鉄』が伝える特有の動きと生命感を基調として、日本大学芸術学部美術学科の教員や卒業生、大学院生の作品が、柳瀬荘の伝統的な空間に新たなアートの息吹をもたらします。1980年代は、ポストモダンの影響を受け、従来の彫刻の枠組みを超えたインスタレーションやランドアート、パフォーマンスなどの新しいアプローチが目立ってきました。日藝の教員、卒業生、学生は、この時代の変革の中心において、彫刻の新しい方向性を模索し続けていました。

普段目にする彫刻作品や場が、静止しているものだと多くの人が感じています。しかし、実際には、全ての物体は緻密なレベルで振動しています。彫刻の「ゆらぎ」は、作者と素材の対話、風や光などの自然、または作品に触れた際の人間の動きや思考によって引き起こされます。この「ゆらぎ」は、彫刻の中に秘められたエネルギーや、作家の意図したメッセージが視覚化されたものと言えるでしょう。それは、彫刻と空間、そして人との間の繊細な対話の形です。

作品と柳瀬荘が織りなす空間は、伝統と革新、彫刻と現代美術、造形のかたちと自然のゆらぎというテーマを、訪問者に感じさせ、考えさせる場となることでしょう。

日本大学芸術学部美術学科  
彫刻コース 地域芸術専攻 助教 金 秋 雨

### アート教育プロジェクト

「柳瀬荘アート教育プロジェクト」は、今回で10回目を迎えます。展覧会趣旨におきましては、彫刻作品におけるかたちの問題に着目した、「かたちとゆらぎ」としました。日藝彫刻専攻を一定の地平とし、土谷武氏の『歩く鉄』を中心とした彫刻のグループ展を、教職員、大学院生を交えたいと思います。

展覧会会期 以下13日間のみ公開

10月  
17日(木)、19日(土)、24日(木)、26日(土)、31日(日)

11月  
7日(木)、9日(土)、14日(木)、16日(土)  
21日(木)、23日(土)、28日(木)、30日(土)

時間 10:00~15:00

観覧料 無料・予約不要

### イベント

かまど火焚き(かまどに火入れし資料観音焼きます。)  
11月4日(木) 10:00~12:00

### 展覧会詳細事項

主催：日本大学芸術学部美術学科彫刻コース  
東京国立博物館  
協力：学校法人 青山学院  
担当：日本大学芸術学部美術学科(飯田竜太)  
問合せ：03-5995-8230(美術学科代表)  
HP：<http://nichigei-art.com/>  
会場住所：東京国立博物館 柳瀬荘  
埼玉県所沢市大字坂之下 437

### 東京国立博物館 柳瀬荘について

重要文化財黄林閣が所在する柳瀬荘は実業家、茶人として名高い故松永安左衛門氏の別荘でしたが、昭和23年3月に東京国立博物館に寄贈され、現在は週に一度、外観のみ一般に公開されています。荘内の主要建物である「黄林閣」は江戸時代・天保期の民家の特色をよく示すものとして昭和53年に重要文化財に指定されました。荘内にはほかに書院造りの「観月亭」と茶室の「久木庵」などが残されています。また、武蔵野の面影を今にとどめる雑木林が多く、周辺の開発から一線を画した貴重な自然環境を保っています。

公開日・時間：毎週末曜日  
(以下は展覧会開催期間以外の公開日時です。)  
10:00~16:00(4月~9月)  
10:00~15:00(10月~3月)  
ただし、年末年始(12月23日~1月15日)は除く。

### アクセス

- 東武東上線  
「志木駅」から西武バス(所沢東口行き)  
「西側」下車 徒歩約3分
- 東武東上線  
「志木駅」から西武バス(跡見女子大行き)  
「中野」下車 徒歩約5分
- JR 武蔵野線  
「東所沢駅」から西武バス(志木駅南口行き)  
「西側」下車 徒歩約3分



「参考作品画像」1.黄美苗 2.青野真澄 3.小林紗己 4.海崎三郎 5.石井琢郎 6.鞍掛純一 7.寺内曜子 8.LIU RUIQI

